

平成25年度予算見積調書

課室名：生涯学習文化財課
 担当名：指定文化財保護担当
 内線：6987

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B105	史跡埼玉古墳群保存活用事業		一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	埼玉古墳群整備費		
事業期間	平成19年度～平成28年度	根拠法令	文化財保護法、文化財保護条例		戦略項目				
					分野施策	050101 文化芸術の振興			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>本県を代表する文化遺産である史跡埼玉古墳群について特別史跡昇格や世界遺産登録を視野に入れつつ、恒久的な保存を図り、県民に適切に公開するために必要な整備を行う。</p> <p>(1) 保存整備協議会運営費 358千円 (2) 発掘調査費 7,784千円 (3) 奥の山古墳整備費 1,607千円 (4) 二子山古墳整備費 20,785千円</p>			<p>(1) 事業内容 平成18年度に策定した「埼玉古墳群保存整備基本計画」に基づき、埼玉古墳群を継続的に整備する。 ア 保存整備協議会運営費 謝金等 358千円 イ 発掘調査費 作業員9人×78日間、賃金・消耗品・基準点測量・3D測量・重機賃借料等 7,784千円 ウ 奥の山古墳整備費 報告書(300部)印刷製本・発送 1,607千円 エ 二子山古墳整備費 土壌(テフラ)分析・内堀埋立て工事一式 20,785千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 保存整備協議会運営費 学識経験者等委員11名、年2回開催。調査及び整備の進め方について、指導・助言を得る。 イ 発掘調査費 整備に係る基礎的なデータを得るため、鉄砲山古墳及び二子山古墳の発掘調査を実施する。併せて、古墳群解明のための周辺確認調査を実施する。 ウ 奥の山古墳整備費 調査及び整備報告書を作成し、300部印刷製本し、関係機関等に発送する。 エ 二子山古墳整備費 前方部の内堀の埋立工事を実施するとともに、古墳の時期を特定するため火山灰サンプルを採取し分析する。</p> <p>(3) 事業効果 県名発祥の地であり本県を代表する文化財・文化遺産である埼玉古墳群の経年変化による崩壊を防ぎ、将来にわたり保存を図るとともに、本県のシンボルとして広く県民等に公開と活用を図ることができる。 ア 奥の山古墳の整備 平成19年度から平成25年度まで イ 鉄砲山古墳の整備 平成22年度から ウ 二子山古墳の整備 平成24年度から</p> <p>(4) その他 比較的安定している鉄砲山古墳の調査を継続しつつ、整備については墳丘部の崩落が進行している二子山古墳を先行して実施する。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 特別交付税 重要文化財等の保存等に要する経費(埋蔵文化財の発掘調査等にかかる経費)									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.1人=29,450千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	30,534	国庫支出金	15,266					15,268	△2,399
前年額	32,933		16,466					16,467	